

神戸大学大学院

医学研究科医科学専攻

修学案内

2020年4月

神戸大学医学部学務課

修学案内目次

1.	カリキュラムについて	1－6
3.	共通科目必要単位早見表（2020年度入学者用）	7
4.	博士課程共通科目開講計画一覧（2020年度）	8
5.	授業科目開講表等	
	① 共通基礎科目（コア講義）	9－10
	② 生命倫理特論	11
	③ 大学院特別英語（2020年5月～7月）の開講について	12
6.	2020年度医科学専攻シラバスについて	13
7.	医科学専攻関係内規等	14－22

医科学専攻修学案内

カリキュラムについて

(1) 履修プログラムの届出と授業科目の履修について

医科学専攻の学生は、入学後、所属する教育研究分野の指導教員の指導を受けて、履修するプログラムと専門科目を決定し、次の要領により「履修届」を大学院教務学生係に提出してください。

I 履修届提出要領

3年次終了までに所定の単位（30単位）が修得し得るように履修計画を立て、履修届を提出してください。

1. 履修プログラムを選択してください。

履修プログラムの詳細は（2）プログラムの概要（P.2～P.3）及び（3）各プログラムの履修要件（P.3～P.6）を参照してください。

2. 専門科目の選択は、「2020年度医科学専攻シラバス」を参照してください。

3. 履修届の様式

履修届は、医学部ホームページからダウンロード可能です。

HP >> 在学生の方へ >> 博士課程の「その他様式のダウンロード」

(URL : <http://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/DRC/drc-download.htm>)

4. 提出期間

2020年5月1日（月） ～ 2020年5月29日（金）17時まで

（提出期間後の変更は一切できませんので、ご注意ください。）

5. 承認印

履修届に指導教員の承認印、履修する専攻科目又は選択科目の担当教員の承認印を得てください。

6. 提出先：学務課大学院教務学生係（管理棟3階）

II 共通科目の履修について

(1) 共通基礎科目、医学研究先端講義、大学院特別講義の3つの授業科目区分があります。

各履修プログラムの必要な科目は「共通科目必要単位早見表」（P.7）を参照してください。

(2) 共通科目の概要：授業案内ホームページを参照してください。

(3) 開講時期：「博士課程共通科目開講計画一覧（2020年度）」（P.8）を参照してください。

なお、開講日時が確定次第、学内掲示板、各分野代表アドレス、授業案内ホームページにて通知します。

HP >> 在学生の方へ >> 博士課程の「授業案内」

(URL : <http://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/DRC/drc-schedule.htm>)

(2) 履修プログラムの概要

- A. 「研究者育成プログラム：シングルメジャー」
B. 「研究者育成プログラム：ダブルメジャー」
- } 主に研究者を養成する課程

生命現象の基礎的解明、疾患病態の解明や治療法の基礎的開発などを目指した実験的/理論的研究を行うためのプログラムです。このプログラムでは、シングルメジャーもしくはダブルメジャーのどちらかを選択します。シングルメジャーでは、所属する教育研究分野以外に1つの教育研究分野を選択し、基礎的な知識を習得することを目的としています。ダブルメジャーでは、所属する教育研究分野以外に1つの教育研究分野を選択し、2つの専攻分野について深く探求することを目的としています。

C. 「シグナル伝達基礎臨床融合プログラム」

シグナル伝達医学を中心とし、分野の枠を超えて基礎臨床融合による教育・研究を行うためのプログラムです。このプログラムでは、基礎系講座の中から1つの教育研究分野を選択し、臨床系講座の中から1つの教育研究分野を選択し、2つの専攻分野（基礎、臨床）を融合した教育・研究により、シグナル伝達医学研究を発展させ、臨床応用につなげることを目的としています。

D. 「臨床研究エキスパート育成プログラム」

臨床研究エキスパート（規制科学、生物統計、臨床研究に精通した医師等）を養成するプログラムです。このプログラムでは、地域社会医学・健康科学講座、内科学講座、内科系講座、外科学講座及び外科系講座の中から臨床研究に係わる2つの教育研究分野を選択し、臨床研究について深く探求することを目的としています。

E. 「医学研究国際プログラム」

医学研究の指導の人材育成を目的とするプログラムです。海外標準に合わせた10月入学、「基礎・臨床融合研究」を学ぶダブルメジャー・プログラムの選択、分野横断的なラボ・ローテーションや英語による講義などのコースワークを導入し、プログラム終了後、本国に帰国した研究者との交流を継続し、さらなる人材育成のネットワークを形成することを目的としています。また、専門科目を対象疾患に関連する基礎系及び臨床系教育研究分野から各1つの教育研究分野を専攻し、基礎的病態解明から臨床的医療戦略の構築までの幅広い専門知識を体系的に習得することを目的としています。

F. 「がんプロフェッショナル養成プログラム」

がんの薬物療法、放射線療法、緩和医療等に関するスペシャリストを養成するプログラムです。

このプログラムでは、所属する教育研究分野（腫瘍・血液内科学、放射線腫瘍学、小児科学、先端緩和医療学又は薬剤学）以外に1つの教育研究分野を選択し、がんのプロフェッショナルとしての知識を習得することを目的としています。

G. 「デジタル医工創成学プログラム」

臨床現場の課題を起点とした医療機器開発の中心となる創造的医療機器開発人材（メディカル・デバイス・プロデューサー：MDP）を養成するプログラムです。MDPに必要な基礎知識（医療機器産業、医療機器開発の過程、工学的知識、薬機法、保険適用、知財、マーケティング）を学ぶとともに、問題解決型学習（PBL）として臨床現場の課題からその解決法となる医療機器の概念を創出し、試作を行います。試作の評価が高ければ特許取得や工学研究者や企業との共同研究も可能です。

H. 「連携大学院臨床研究医養成プログラム」

高度な臨床技能とリサーチマインドを兼ね備えた臨床研究位を養成するプログラムです。このプログラムでは、所属する教育研究分野（小児先端医療学、小児高度専門外科学、循環器内科学又は心臓血管外科先端医療学）以外に1つの教育研究分野を選択し、本研究科と所属する施設を連携することにより深く探求することを目的としています。

I. 「早期研究スタートプログラム：一般コース（ダブルプログラム）」

本研究科指導教員と附属病院総合臨床教育センターとの連携により、充実した初期臨床研修を行うとともに、学部卒業後早期に大学院へ進学し研究を開始することで医学医療の急速な進歩や社会的要請に対応できる医学研究者を育成することを目的としています。

J. 「早期研究スタートプログラム：基礎医学研究医育成特別コース」

医学部在学中に基礎医学研究室で研究を行い、大学卒業後も引き続き基礎医学研究医を志す者を対象としたプログラムです。本研究科基礎系指導教員と附属病院総合臨床教育センターとの連携により、充実した初期臨床研修を行うとともに、将来高度先進医療研究も含めた幅広い研究を行うことも視野に入れ、基礎医学研究医やクリニシャン・サイエンティストを養成することを目的としています。

(3) 各プログラムの履修要件

A 研究者育成プログラム：シングルメジャー

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。）	13単位
	他の教育研究分野の授業科目（特別研究Ⅱ及び臨床実習を除く。）	9単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	6単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ及びラボ・ローテーションを除く。）	
合 計		30単位

備考 「医学研究先端講義」から3単位以上、「大学院特別講義」から2単位以上履修すること。

B 研究者育成プログラム：ダブルメジャー

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する二つの教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。）	26単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	1単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ及びラボ・ローテーションを除く。）	1単位
合 計		30単位

C シグナル伝達基礎臨床融合プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する二つの教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。） ただし、生理学・細胞生物学講座の各分野、生化学・分子生物学講座の各分野、病理学講座の各分野、微生物感染症学講座の各分野及び地域社会医学・健康科学講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択し、内科学講座の各分野、内科系講座の各分野、外科学講座の各分野及び外科系講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択すること。	26単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	1単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ及びラボ・ローテーションを除く。）	1単位
合 計		30単位

D 臨床研究エキスパート育成プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する二つの教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。） ただし、地域社会医学・健康科学講座の各分野、内科学講座の各分野、内科学講座の各分野、外科学講座の各分野及び外科系講座の各分野の中から臨床研究に係わる二つの分野の授業科目を選択すること。	26単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	1単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ及びラボ・ローテーションを除く。）	1単位
合 計		30単位

E 医学研究国際プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する二つの教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。） ただし、生理学・細胞生物学講座の各分野、生化学・分子生物学講座の各分野、病理学講座の各分野、微生物感染症学講座の各分野及び地域社会医学・健康科学講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択し、内科学講座の各分野、内科学講座の各分野、外科学講座の各分野及び外科系講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択すること。	26単位
共通科目	医学研究先端講義	4単位
	大学院特別講義（がんプロ共通特論Ⅰ及びがんプロ共通特論Ⅱを除く。ただし、リサーチ・プロポーザル、グローバルメディカルサイエンス特別講義及びラボ・ローテーションは必修とする。）	
合 計		30単位

F がんプロフェッショナル養成プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する教育研究分野（次の中から1分野を選択：腫瘍・血液内科学、放射線腫瘍学、小児科学、先端緩和医療学及び薬剤学）の授業科目	15単位
	他の教育研究分野の授業科目（特別研究Ⅱ及び臨床実習を除く。）	9単位
共通科目	医学研究先端講義	6単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル及びラボ・ローテーションを除く。ただし、がんプロフェッショナル養成特論、がんプロ共通特論Ⅰ及びがんプロ共通特論Ⅱを必修とする。）	
合 計		30単位

備考 「小児科学」を専攻する場合に限り、がんプロ共通特論Ⅰ・Ⅱを必修としないため、医学研究先端講義及び大学院特別講義から6単位履修すること。ただし、「医学研究先端講義」の授業科目から3単位以上、「大学院特別講義」の授業科目から2単位以上履修すること。

G デジタル医工創成学プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する教育研究分野の授業科目	15単位
	他の教育研究分野の授業科目（特別研究Ⅱ及び臨床実習を除く。）	9単位
共通科目	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル及びびラボ・ローテーションを除く。医療機器開発概論Ⅰ，医療機器開発概論Ⅱ，医療機器設計論，医療機器設計演習Ⅰ及び医療機器設計演習Ⅱを必修とし，別に定める授業科目のうち1つを選択必修とする。）	6単位
合 計		30単位

○デジタル医工創成学に関する他の研究科が開講する授業科目

開講部局	授 業 科 目	単 位 数
工学研究科 (先端科目)	メディカルロボティクス概論	1単位
	バイオマテリアル概論	
	ソフトバイオマテリアル	
	マイクロシステム概論	
	生体流体工学概論	
	機械学習概論	
	データサイエンス概論	

H 連携大学院臨床研究医養成プログラム

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する教育研究分野 （小児先端医療学又は小児高度専門外科学もしくは循環器内科学又は心臓血管外科先端医療学）の授業科目	15単位
	他の教育研究分野の授業科目（特別研究Ⅱを除く。） ただし、別に定める分野から選択すること。	11単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	2単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ、インターンシップ及びびラボ・ローテーションを除く。）	
合 計		30単位

I 早期研究スタートプログラム：一般コース（ダブルプログラム）

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する二つの教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。）	13単位
	他の教育研究分野の授業科目（特別研究Ⅱを除く。）	9単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	6単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ、インターンシップ及びびラボ・ローテーションを除く。）	
合 計		30単位

備考 「医学研究先端講義」から3単位以上、「大学院特別講義」から2単位以上履修すること。

J 早期研究スタートプログラム：基礎医学研究医育成特別コース

区 分	授 業 科 目	単 位 数
専門科目	専攻する教育研究分野の授業科目（臨床実習を除く。） ただし、生理学・細胞生物学講座の各分野、生化学・分子生物学講座の各分野、病理学講座の各分野、微生物感染症学講座及び地域社会医学・健康科学講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択すること。	13単位
	他の分野の授業科目（特別研究Ⅱ及び臨床実習を除く。） ただし、内科学講座の各分野、内科系講座の各分野、外科学講座の各分野及び外科系講座の各分野の中から一つの分野の授業科目を選択すること。	9単位
共通科目	共通基礎科目	2単位
	医学研究先端講義	6単位
	大学院特別講義（リサーチ・プロポーザル、がんプロ共通特論Ⅰ、がんプロ共通特論Ⅱ、インターンシップ及びラボ・ローテーションを除く。）	
合 計		30単位

備考 「医学研究先端講義」から3単位以上、「大学院特別講義」から2単位以上履修すること。

（3）授業開始について

2020年度の共通科目の授業開始日は、原則として4月20日（月）からとします。

ただし、一部の授業科目については、4月20日（月）以前に開講する場合がありますので、ご注意願います。

①生命倫理特論 4月10日（金）18:00～19:30

②コア講義 4月17日（金）18:00～19:30

なお、専門科目の授業開始については、所属する教育研究分野に確認してください。

（4）学位論文の作成について

全ての履修プログラムとも、専攻する教育研究分野の指導教員の指導のもとで学位論文を作成することになります。

学位論文の申請の詳細については医学研究科ホームページをご覧ください。

HP >> 在学生の方へ >> 博士課程の「学位申請に係る各種書類様式のダウンロード」

(URL : <http://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/GAKUI/ronbun-download.htm>)

（5）修了要件について

- （1）本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。
- （2）在学期間に関しては、研究科教授会が別に定めるところにより、優れた研究業績を上げた者と認めた場合は、3年以上在学すれば修了が可能となっています（早期修了制度）。

（6）大学院修了の時期について（「内規等」を参照してください。）

共通科目必要単位早見表(2020年度入学者用) The chart of credits

学籍番号20生

	受講数 the number of lectures → 単位数 credits	プログラム別必要単位数								
		研究者育成 プログラム シングルメジャー Educational Single Major Program for Researcher	研究者育成 プログラム ダブルメジャー Educational Double Major Program for Researcher	シグナル伝達 基礎臨床融合 プログラム Special Program for Clinician- Scientist on Signal Transduction Medicine	臨床研究 エキスパート 育成プログラム Special Program for Clinical Study Expert	医学研究国際 プログラム International Program for Medical Research	がんプロ フェッショナル 養成プログラム Training Program for Experts on Clinical Oncology	デジタル医工創 成学プログラム 英語表記 検討中	連携大学院 臨床研究医 養成プログラム Special Program Linked with Partner Hospitals	早期研究 スタート プログラム Special Program for Early Medical Research
		8	4	4	4	4	6	6	4	8
共通基礎科目										
コア講義 Core Lecture	8 → 1	1	1	1	1				1	1
コア実習 Core Practice	1(※1) → 1	1(※1)	1(※1)	1(※1)	1(※1)				1(※1)	1(※1)
医学研究先端講義										
先端医学シリーズ Trends Series	1(※5) → 1	}	1(※3)	}	1(※3)	}	}	}	}	}
先端医学トピックス Trends Topics	10(※6) → 1									
大学院特別講義										
生命科学論文・申請書作成特論 Writing skills in paper preparation and in grant application	※7 → 1	}	}	}	}	}	}	}	}	}
産学連携特論 Innovation and industrial application	8(※8) → 1									
発生・再生医学特論 Developmental & Regenerative Medicine	1(※9) → 1									
大学院特別英語 Special English	※10 → 1									
生命倫理特論 Special Course on Bioethics	8(※11) → 1									
グローバルメディカルサイエンス 特別講義 Special Course on Global Medical Science	8(※8) → 1									
インターンシップ Internship	1(※12) → 4									
がんプロフェッショナル養成特論 Special Course of Clinical Oncology	8(※8) → 1									
がんプロ共通特論Ⅰ Special Seminar of Medical Oncology (I)	15(※10) → 2						2(必修) (※13)			
がんプロ共通特論Ⅱ Special Seminar of Medical Oncology (II)	15(※10) → 2						2(必修) (※13)			
リサーチ・プロポーザル Research Proposal	1 → 1					1(必修)				
ラボ・ローテーション Lab Rotation	1 → 1					1(必修)				
医療機器開発概論Ⅰ	※10 → 1							1(必修)		
医療機器開発概論Ⅱ	※10 → 1							1(必修)		
医療機器設計論	※10 → 1							1(必修)		
医療機器設計演習Ⅰ	※10 → 1							1(必修)		
医療機器設計演習Ⅱ	※10 → 1							1(必修)		
他研究科が開講する授業科目 (別表)	※10 → 1							1(選択必修)		

※1 「コア講義」の単位取得後に受講すること。受講を希望する実習を事前に各教育研究分野の事務室や医局等に申し出る必要がある。

※2 「医学研究先端講義」の授業科目から3単位以上、「大学院特別講義」の授業科目から2単位以上履修すること。

※3 「先端医学シリーズ」もしくは「先端医学トピックス」のいずれかの授業科目の単位を取得すること。

※4 「医学研究先端講義」の授業科目から1単位以上(重複して受講することができる)、「大学院特別講義」の授業科目から2単位以上履修すること。

※5 重複して受講できる。全講義を受講して1単位となる。学務課大学院教務学生係で事前登録する必要がある。

※6 重複して受講できる。年度をまたいで受講することができる。10回の受講で1単位となる。

※7 「生命科学論文・申請書作成特論の受講について」に従って受講すること。

※8 年度をまたいで受講することができる。ただし、同一教員の講義もしくは同一の題目を受講することはできない。

※9 2日間の集中講義のため全講義終了時に合否判定を行う。事前に学務課大学院教務学生係及び理化学研究所のサイトで登録する必要がある。

※10 全講義終了時に合否判定を行う。

※11 全講義終了時に合否判定を行う。ただし、8回以上開講された場合は、8回までの受講で良い。

※12 3ヶ月以上のインターンシップ及び報告書など、総合的に合否判定を行う。

※13 小児科学を専攻する場合に限り、がんプロ共通特論Ⅰ・Ⅱを必修としないため、医学先端講義及び大学院特別講義から6単位履修すること。
ただし、「医学研究先端講義」の授業科目から3単位以上、「大学院特別講義」の授業科目から2単位以上履修すること。

博士課程共通科目開講計画一覧(2020年度)

区分	科目名	開講予定期	事前申し込み	備考
共通基礎科目 General Basic Subjects	コア講義 Core Lecture	5月～6月	不要	コア実習受講前に履修必要
	コア実習 Core Practice	7月～8月	要	原則、コア講義受講修了後
大学院特別講義 Special Lectures	大学院特別英語 Special English	5月～3月	要	年度をまたぐことはできない。
	リサーチ・プロポーザル Research Proposal	10月～11月	要	
	生命科学論文・申請書作成特論 Writing skills in paper preparation and in grant application	別途通知	要/不要	
	発生・再生医学特論 Developmental & Regenerative Medicine	8月5日～8月6日	要	年度をまたぐことはできない。
	産学連携特論 Innovation and industrial application	9月～11月	不要	
	生命倫理特論 Special Course on Bioethics	5月～7月	不要	年度をまたぐことはできない。
	グローバルメディカルサイエンス特別講義 Special Course on Global Medical Science	10月～12月	不要	
	がんプロフェッショナル養成特論 Special Series of Medical Oncology	別途通知	不要	
	インターンシップ Internship	随時	要	3ヶ月以上4ヶ月以下の実施
	ラボ・ローテーション Lab Rotation	別途通知	要	
医学研究先端講義 Trend Medical Research Lectures	先端医学シリーズ Trend Series	10月～12月	要	年度をまたぐことはできない。
	先端医学トピックス Trend Topics	随時	不要	

※ 開講時期を変更する場合がありますので、必ずHP等でご確認願います。

2020年度大学院共通科目 共通基礎科目・特論(コア講義) 予定表
2020 General Basic Subjects (Core Lectures) Time Table

開講日時 Date & Time	講義題目及び講師 Title & Lecturer	場所 Place
4月17日(金) 18:00～19:30	【延期:日程未定】1-環境に配慮した実験を行うために◎ 牧一秀志(環境保全推進センター)	大講義室 Main Lecture Room
May 7th (Thu) 18:00～19:30	2 Introduction to cancer cell biology 南 康博Yasuhiro Minami (細胞生理学Cell Physiology)	A講義室 Lecture room A
May 11th (Mon) 18:00～19:30	3 Analysis of cellular functions by using fluorescent proteins 岡田 太郎Taro Okada (生化学Biochemistry)	A講義室 Lecture room A
May 12th (Tue) 18:00～19:30	4 Molecular basis for tumor suppressor gene function 前濱 朝彦Tomohiko Maehama (分子細胞生物学Molecular and Cellular Biology)	A講義室 Lecture room A
May 13th (Wed) 18:00～19:30	5 How do our organs develop? Lessons learnt from studies of neural crest cells 榎本秀樹Hideki Enomoto (神経分化・再生Neural Differentiation and Regeneration)	A講義室 Lecture room A
May 19th (Tue) 18:00～19:30	6 Introduction to Forensic Toxicology and Forensic Pathology 上野 易弘Yasuhiro Ueno (法医学Legal Medicine)	A講義室 Lecture room A
May 22th (Fri) 18:00～19:30	7 Basics of lipid signaling 伊藤 俊樹Toshiki Ito (膜生物学Membrane Biology)	A講義室 Lecture room A
May 27th (Wed) 18:00～19:30	8 Fundamentals to recent topics on neuropsychopharmacology 北岡 志保Shiho Kiotaoka (薬理学Pharmacology)	A講義室 Lecture room A
May 29th (Fr) 18:00～19:30	9 Basics of immunohistochemistry and its pitfall 伊藤 智雄Tomoo Ito (病理診断学Diagnostic Pathology)	A講義室 Lecture room A
June 1st (Mon) 18:00～19:30	10 Basic principal of analytical chemistry 篠原 正和Masakazu Shinohara (疫学Epidemiology)	A講義室 Lecture room A
June 4th (Thu) 18:00～19:30	11 Basic study of herpesvirus 森 康子Yasuko Mori (臨床ウイルス学Clinical Virology)	A講義室 Lecture room A
June 8th (Mon) 18:00～19:30	12 Introduction to Virology 勝二 郁夫Ikko Shoji (感染制御学Infectious Disease Control)	A講義室 Lecture room A
June 10th (Wed) 18:00～19:30	13 Introduction to brain science from diseases 内匠 透Toru Takumi (生理学Physiology)	A講義室 Lecture room A
June 12th (Fri) 18:00～19:30	14 The mononuclear phagocyte system in Oncoimmunology 斉藤 泰之Yasuyuki Saito (シグナル統合学Molecular and Cellular Signaling)	A講義室 Lecture room A
June 16th (Tue) 18:00～19:30	15 Introduction to membrane traffic 匂坂 敏朗Toshiaki Sakisaka (膜動態学Membrane Dynamics)	A講義室 Lecture room A
June 18th (Thu) 18:00～19:30	16 Neuroscientific research methods using genetic manipulation of zebrafish 吉川 知志Satoshi Kikkawa (生体構造解剖学Structural Medicine and Anatomy)	A講義室 Lecture room A

◎Lecture in Japanese

留意事項 Notice

・大講義室は臨床研究棟6階に、A講義室は4階、B講義室は5階にあります。

Main Lecture Room is on the 6th floor of Main Building of University Hospital, Lecture room A is on the 4th floor, and Lecture room B is on the 5th floor.

・8講義の受講で1単位を認定します。

You can get 1 credits by attending 8 lectures.

・「動物実験講習会」、「遺伝子組換え実験講習会」、「RI実験講習会」の3講習会は、担当委員会等との協議の結果、2019年度からコア講義の1講義として取り扱いませので、ご注意願います。

Each one of the three lectures 「Gene recombination lecture」・「Experiments with animals lecture」・「RI experiments lecture」 is **NOT** regarded as 1 lecture 2019～.

・2020年度から各講義の最後に小レポートの提出が必要になりました。

1) レポート用紙等の配付は、各受講者につき1枚のみとする。

2) レポート用紙等は、授業開始後15分以降は配付しません。

3) レポート等の提出がない場合は、出席とみなしません。

4) 受講者名簿は授業終了後、レポート等の提出時に記入する。

Starting in Academic Year 2020, students must submit a short report at the end of each lecture.

1) A sheet of paper (designated form) is given to each student at the beginning of the lecture.

2) The paper is not given to any students who are more than 15 minutes late.

3) Students who do not submit their reports are considered as absent.

4) Students must write down their names on the attendance sheet when submitting the reports after the lecture.

2020年度大学院共通科目 共通基礎科目・特論(コア講義)概要
2020 General Basic Subjects (Core Lectures) Outline

講義番号	講義題目	担当教員(分野)	内 容
④	環境に配慮した実験を行うために	牧 秀志 (環境保全推進センター)	環境に配慮した実験を行うために
2	Introduction to cancer cell biology	Yasuhiro Minami (Cell Physiology)	Molecular mechanisms of cancer cell properties will be presented.
3	Analysis of cellular functions by using fluorescent proteins	Taro Okada (Biochemistry)	The fluorescent proteins are now widely used in the research of cell biology, not only as a reporter of expression but also as biosensors. In this lecture, several techniques using fluorescent proteins for analysis of cellular function will be presented.
4	Molecular basis for tumor suppressor gene function	Tomohiko Maehama (Molecular and Cellular Biology)	This lecture will introduce the molecular mechanisms for famous tumor suppressors and their deregulation in tumors.
5	How do our organs develop? Lessons learnt from studies of neural crest cells	Hideki Enomoto (Neural Differentiation and Regeneration)	This lecture is aimed to provide a novel concept of organogenesis learnt from studying neural crest cells which are multipotent cells that differentiate into various cell types including neurons, glia, mesenchymal cells, melanocytes etc.
6	Introduction to Forensic Toxicology and Forensic Pathology	Yasuhiro Ueno (Legal Medicine)	The general basics of Forensic Toxicology and Forensic Pathology will be lectured.
7	Basics of lipid signaling	Toshiki Ito (Membrane Biology)	This lecture will introduce the basic principles of signal transduction pathway mediated by lipid molecules in the biological membrane.
8	Fundamentals to recent topics on neuropsychopharmacology	Shiho Kiotaoka (Pharmacology)	I will introduce the typical neurological disease models and important techniques to investigate molecular basis of disease. This lecture will help you understand neuropharmacology and provide a guide to the recent topics in stress-induced cellular and behavioral changes as well as neuroimmune interaction.
9	Basics of immunohistochemistry and its pitfall	Tomoo Ito (Diagnostic Pathology)	Immunohistochemistry is an essential method in current pathological diagnosis and various medical fields. With appropriate staining procedures, we can learn various things from the result, which lead to accurate diagnoses and various scientific facts. However, once we face with inappropriated staining or unexpected results, immunohistochemistry will turn to be fairly misleading and lead to impossible mistakes. In this lecture, basics of immunohistochemistry and its pitfalls will be discussed.
10	Basic principal of analytical chemistry	Masakazu Shinohara (Epidemiology)	Overview and applications of Mass Spectrometry based analytical chemistry for medical research.
11	Basic study of herpesvirus	Yasuko Mori (Clinical Virology)	The Basic study of herpesvirus will be lectured.
12	Introduction to Virology	Ikuo Shoji (Infectious Disease Control)	The general basics and the current topics of Virology will be lectured.
13	Introduction to brain science from diseases	Toru Takumi (Physiology)	This lecture introduces multi-leveled approaches from molecular to behavioral levels towards understanding the pathophysiology of psychiatric disorders such as autism.
14	The mononuclear phagocyte system in Oncoimmunology	Toshiaki Sakisaka (Membrane Dynamics)	The mononuclear phagocyte system (MPS) comprises monocytes, macrophages, and dendritic cells (DCs). Recent studies have revealed that they are distinct from each other and have specialized functions in the immune system. This lecture highlights the feature of MPS in the context of tissue homeostasis as well as tumor immunity.
15	Introduction to membrane traffic	Toshiaki Sakisaka (Membrane Dynamics)	Molecular mechanisms of membrane traffic and cell-free assay systems for analyzing membrane traffic will be presented.
16	Neuroscientific research methods using genetic manipulation of zebrafish	Satoshi Kikkawa (Structural Medicine and Anatomy)	In this lecture experimental approaches on neuroscience using genetic manipulation on small fresh water model animal zebrafish will be introduced along with some practical examples.

©Lecture in Japanese

2020年度 大学院特別講義 生命倫理特論

Special Course on Bioethics

日時	場所	所属	職名	担当教員	題目
4月10日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 疫学分野	准教授	篠原 正和	公衆衛生学概論
5月15日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 法医学分野	教授	上野 易弘	法医鑑定 1
5月22日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学部附属病院 医療の質・安全管理部	部長 (教授)	小林 和幸	医療安全
5月26日(火) 10:10～12:20	大講義室 (臨床研究棟 6階)	国家公務員共済組合連合会六甲病院 緩和ケア内科	部長	安保 博文	終末期医療と緩和ケア (1) 終末期医療と緩和ケア (2)
5月27日(水) 10:10～12:20	大講義室 (臨床研究棟 6階)	西本クリニック	理事長	西本 隆	東洋医学総論 (1) 東洋医学総論 (2)
5月27日(水) 13:20～15:30	大講義室 (臨床研究棟 6階)	法学研究科	名誉教授	丸山 英二	医療・医学研究における倫理と法 (1) 医療・医学研究における倫理と法 (2)
5月28日(木) 13:20～15:30	大講義室 (臨床研究棟 6階)	東京都 中央区保健所	所長	山本 光昭	わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割 (1) わが国の保健医療の動向と医師に期待される役割 (2)
5月29日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 法医学分野	教授	上野 易弘	法医鑑定 2
6月12日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 薬剤学分野	教授	矢野 育子	薬害
7月3日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 医療情報学分野 医学部附属病院 医療情報部	准教授	高岡 裕	医療情報
7月31日(金) 18:00～19:30	第二講堂 (研究棟B 2階)	医学研究科 疫学分野	准教授	篠原 正和	研究倫理

◎全授業終了時に合否判定する。ただし、8回以上開講の場合は、8回までの受講でよい。

授業への出席および小レポート（200字程度）や口頭試問等により総合的に評価し、講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を合格とする。

- 1) レポート用紙等の配付は、各受講者につき1枚のみとする。
- 2) レポート用紙等は、授業開始後15分以降は配付しません。
- 3) レポート等の提出がない場合は、出席とみなしません。
- 4) 受講者名簿は授業終了後、レポート提出時に記入する。

博士課程学生 各位

医科学専攻教務学生委員会

委員長 掛 地 吉 弘

「大学院特別英語」開講（2020年5月～7月）のお知らせ

以下のとおり開講予定ですのでお知らせします。受講を希望する場合は、学務課大学院教務学生係の窓口にて受講登録を行ってください。

＜開講時期＞ 2020年5月～7月、2020年10月～12月、2021年1月～3月
毎週水曜日に8回開講します。

今回の案内では、2020年5月～7月開講分を受け付けます。

5月13日、20日、27日

6月3日、10日、17日、24日

7月1日

2020年10月以降開講分につきましては、別途ご連絡します。

＜申込期限＞ 2020年4月17日（金）17時まで

＜募集人数＞ ①スタンダード・クラス : 12名
16:00～17:30

②アドバンスト・クラス : 12名
18:00～19:30

申込は**先着順**とします。定員に達した場合は、上記の期限にかかわらず、受付を締め切ります。

＜受講クラスの決定＞ 4月下旬に該当学生へメールにて連絡します。

＜授業内容＞

本格的なプレゼンテーションの指導は通常の大学の英語授業ではカバーされておらず、これまでは受講の機会はほとんどありませんでした。今回、プレゼンテーションの指導経験が豊富なネイティブのエキスパートをお呼びして、うまく英語を話すコツ、論理的な発表のコツ、英語で相手を説得するコツをご指導いただきます。今後国際学会発表の機会の増える大学院生の皆さんが、小さい頃からこういった教育を受けている外国人に負けないように、今この授業を受けることは非常に有意義なことと考えます。

ぜひこの機会を生かし、**know-how** を学んでください。

＜問合せ先＞ 学務課大学院教務学生係（担当：山本） 内線5214

メールアドレス：kobegsm@med.kobe-u.ac.jp

2020 年度医科学専攻 シラバスについて

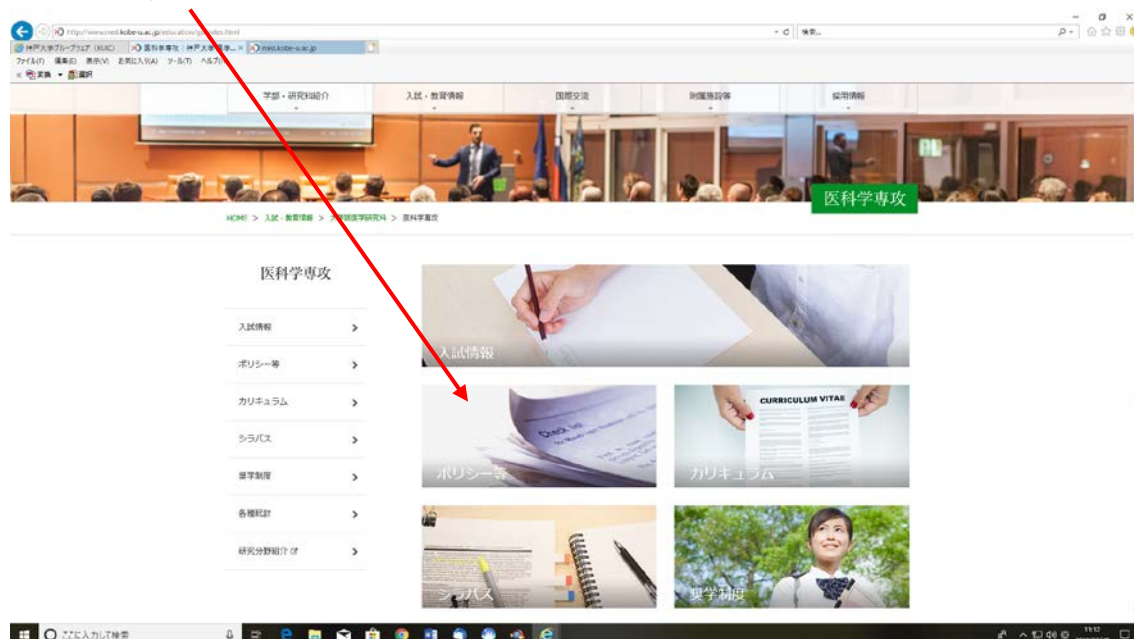
【 閲覧方法 】

神戸大学大学院医学研究科・医学部 ホームページ

<http://www.med.kobe-u.ac.jp/index.html>



シラバスを選択



医科学専攻関係内規等

医科学専攻の学生の身分についての申合せ

(平成16年4月12日 医科学専攻会議制定)

1. 大学院在学中は、公務員として就職することはできない。
2. やむを得ず就職する場合は休学しなければならない。
3. 私立の病院などに就職する場合もこれに準ずる。
4. ただし、平成13年度以降の社会人特別選抜により入学した者及び「大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施に係る申合せ」(平成16年4月12日医科学専攻会議制定)の2のただし書きにより入学した者についてはこの限りではない。
5. 在学期間中、大学での研究・診療活動の他、大学以外での労働契約(給与が支払われるもの)を伴うものについては、アルバイト等届(別紙様式)を提出するものとする。

附 則

この申合わせは、平成16年4月12日から実施し、平成16年4月1日から適用する。

(別紙様式略)

2020年 4月 1日

医科学専攻学生のみなさんへ

医科学専攻教務学生委員会委員長

掛 地 吉 弘

共通科目開講時の受講者名簿及びレポート用紙等の取扱いについて（通知）

この度、機関別認証評価（2021年予定）の受審に伴い、2020年度から全ての授業科目において、出席のみで成績を評価する（単位を授与する）ことが全学的に認められなくなりました。

そこで、博士課程学生対象に開講する共通科目（コア講義、先端医学トピックス等）において、講義毎に小レポート等を行い、複合的に成績を評価することが必須条件となりました。

ついては、2020年4月1日以降に実施する共通科目について、以下の手順に基づき講義毎に小レポート等を課しますので、十分にご注意ください。

なお、受講者数が少ない講義においては、講義担当者の判断により、小レポートを講義内容の理解度を確認する口頭試問等に置き換えて実施する場合がありますので、予めご了承ください。

手 順

1) レポート用紙等の配付は、各受講者につき1枚のみとします。

2) レポート用紙等の配付は、授業開始後15分以内とします。

※急を要する患者対応や交通機関等の遅れなど、授業担当者が「やむを得ない事由」と判断できる場合については15分を越えて配付する場合があります。

3) レポート等の提出がない場合は、出席とみなしません。

4) 授業終了後、レポート提出時に受講者名簿に学籍番号及び氏名を記入してください。

※代筆は、絶対に止めてください。

5) レポート等の記述内容により講義担当者が各受講者に対する評価を行います。

〔ご不明な点の問い合わせ先〕学務課大学院教務学生係

内線：5193

E-mail：kobegsm@med.kobe-u.ac.jp

他大学の大学院等における授業科目の履修等に関する内規

平成20年 3月18日 医学研究科教授会制定

改正 平成24年1月18日 医学研究科教授会

(趣旨)

第1条 この内規は、神戸大学大学院医学研究科規則（平成20年3月18日制定。以下「規則」という。）第21条又は第23条の規定により、他大学大学院又は研究所等（外国の大学又は研究所等を含む。以下「大学院等」という。）において、授業科目の履修又は研究指導を受ける場合の取扱いについて定める。

(履修等機関)

第2条 授業科目の履修又は研究指導を受けることが認められる大学院等は、あらかじめ本研究科と協定を結んでいる大学院等とする。

2 前項に規定するもののほか、事前協定を欠いている場合であっても、医学研究科教授会が適当と認めた大学院等については、授業科目の履修又は研究指導を受けることを認めることがある。

(許可の願い出)

第3条 大学院等において授業科目の履修又は研究指導を受けようとする者は、次の書類を提出し、その許可を願い出なければならない。ただし、必要に応じてその他の書類の提出を求めることがある。

(1) 他大学大学院履修許可願（規則第21条の規定による履修）

(2) 他大学大学院等における研究許可願（規則第23条の規定による研究）

(3) 規則第24条の規定により留学する場合は、留学先の受入承諾書

(許可期間)

第4条 前条の規定による許可期間は、留学の期間を含め、通算して修士課程の場合にあつては1年を、博士課程の場合にあつては2年を超えないものとする。

2 前項の許可期間は、標準修業年限に算入する。

(単位の認定)

第5条 他大学大学院の授業科目を履修した者は、次に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 研究報告書（他大学大学院の授業科目の履修期間中の研究内容を1,000字程度にまとめたもの）

(2) 授業科目を履修した大学院の単位認定書若しくは成績証明書又はこれらに代わる証明書（主任教授による研究証明書等）

2 単位認定は、提出された前項1号及び2号に基づき、医科学専攻教務学生委員会において審査し、医学研究科教授会が行う。

3 前項において認定する単位は、10単位を限度とする。

(研究指導の評価)

第6条 大学院等において研究指導を受けた者は、次に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 研究報告書（研究内容を1,000字程度にまとめたもの）

(2) 研究指導を受けた大学院等の指導教授の研究評価書又はこれに代わる証明書等

2 研究指導の評価は、指導教員が行う。

附 則

この内規は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成24年4月1日から施行する。

課程博士に係る学位論文審査に関する申合せ

(平成25年10月9日 医学研究科教授会制定)

改正 平成26年3月12日 医学研究科教授会

改正 平成27年4月1日 医学研究科教授会

改正 平成27年12月16日 医学研究科教授会

改正 平成28年5月18日 医学研究科教授会

改正 平成28年12月21日 医学研究科教授会

改正 平成31年3月19日 医学研究科教授会

改正 令和2年3月17日 医学研究科教授会

この申合せは、神戸大学学位規程医学研究科細則（平成20年3月31日制定）（以下「細則」という。）に規定する学位論文審査について定めるものとする。

I 学位論文

細則第3条第1項第3号に規定する学位論文の条件は、次のとおりとする。

1. 学位論文は、米国国立医学図書館提供データベース「MEDLINE」、または、クラリベイト・アナリティクス社提供データベース「Science Citation Index Expanded」に収録されている国際欧文雑誌に公表されており、査読された原著に限る。ただし、出版前であっても掲載予定の明記された受理証明書があれば著者原稿をもって手続きを開始することができる。
2. 共著者のある論文の場合は、次の条件を全て満たしているものとする。
 - (1) 学位申請者が研究及び論文作成の主働者であること。
(例：学位申請者が筆頭著者であること、当該論文が学位請求論文である旨明記されていること等が判定の基準となる。)
 - (2) 論文の共著者から、当該論文を学位申請者の学位論文とすることについて、明白な了解を示す文書が添付されていること。
 - (3) 共著者の数は、3人以内であること。ただし、研究の内容・方法によってはこの限りではない。
3. 2の(1)にかかわらず、次の条件を全て満たしているときは、共筆頭著者として学位論文とすることができる。
 - (1) 論文に筆頭著者と同等の貢献をした旨明記されている場合で、筆頭著者が学位論文としないこと。
(例：The first two authors contributed equally to this study)
 - (2) Science Citation Index Expanded の定義する Impact factor が7以上の国際欧文雑誌に印刷公表又は受理されたものであること。
ただし、Impact factor が4以上の国際欧文雑誌に印刷公表又は受理されたものであり、かつ当該論文が学位授与に値する旨の推薦書が指導教員から提出された場合は、医科学専攻教務学生委員会（以下「委員会」という。）により厳正な審議を行い、妥当とみなすことができる場合に限り、これに準ずるものとする。

II 論文審査委員

1. 論文審査委員（以下「審査委員」という。）は、学位申請者の研究内容に関連する教授3名（指導教員を除き、医学研究科教授会の構成員となっている准教授1名を含むことができる。）とする。
ただし、学位論文の共著者は審査委員になることはできない。
2. 審査委員は、委員会の推薦を参考に医学研究科教授会の議を経て、研究科長が決定する。
3. 審査委員は、研究発表会に出席し、論文の審査及び最終試験を行う。
4. 審査委員（主査）は、論文の審査及び最終試験が終了したときは、その結果を研究科長に報告しなければならない。

III 研究発表会

1. 学位申請者は、学位論文の内容に係る研究発表を行わなければならない。
2. 委員会は、審査委員決定後、速やかに研究発表会を企画し、実施しなければならない。
3. 研究発表会の実施日時及び場所は、開催1週間前に公示するものとする。

- IV この申合せに定めるもののほか、必要な事項については、医学研究科教授会の議を経て、研究科長が定める。

附 則

- 1 この申合せは、平成26年4月1日から実施する。
- 2 「学位論文審査に関する内規」（平成16年4月1日医学研究科教授会制定）及び「医科学専攻における学位論文、審査委員、研究発表会に関する申合せ」（平成16年3月22日医科学専攻会議制定）は廃止する。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から実施する。

附 則

この申合せは、平成28年4月1日から実施する。

附 則

この申合せは、平成28年10月1日から実施する。

附 則

この申合せは、平成28年12月21日から実施する。

附 則

この申合せは、平成31年4月1日から実施する。

附 則

この申合せは、令和2年3月17日から実施する。

医科学専攻における修業年限の特例に関する申合せ

(平成16年 3月22日 医科学専攻会議制定)
(平成27年 4月 1日 医学研究科教授会改正)
(平成29年 8月16日 医学研究科教授会改正)
(令和 2年 3月17日 医学研究科教授会改正)

神戸大学大学院医学研究科規則第29条ただし書き「在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者と認めた場合は、3年以上在学すれば足りるものとする。」(以下「修業年限の特例」という。)に関する取扱いを、次のとおり定める。

1. 修業年限の特例の適用を受けて課程を修了することができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。
 - (1) 指導教員から推薦された者
 - (2) 所定の単位を修得した者
 - (3) 学位論文(主論文)が一流の国際欧文雑誌に筆頭著者(共筆頭著者の場合は第一著者に限る。)として掲載又は掲載予定の者
2. 前項3号に定める「一流の国際欧文雑誌」は、次のいずれかに該当するものとする。
 - (1) クラリベイト・アナリティクス社提供データベース「Science Citation Index Expanded」の定義する Impact Factor (以下「Impact Factor」という。)が4以上の国際欧文雑誌
 - (2) 1995年度以降に Impact Factor が4以上であった国際欧文雑誌
 - (3) 別表に掲げる国際欧文雑誌
3. 修業年限の特例による課程修了の時期は、3月期修了者にあつては3月25日とし、9月期修了者にあつては9月25日とする。
4. 修業年限の特例を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、課程修了の時期を3月期とする場合は、当該年度の1月20日までに、課程修了の時期を9月期とする場合は、当該年度の7月20日までに次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。なお、提出期限が休業日に当たるときは、その次の業務日までとする。
 - (1) 指導教員の推薦理由書
 - (2) 前1項3号に掲げる論文 5部
 - (3) 研究業績一覧
5. 申請者の資格審査は、医科学専攻教務学生委員会が行う。
6. 学位申請資格の有無の決定は、医学研究科教授会の議を経て、研究科長が行う。

附 則

この申合せは、平成16年4月1日から適用する。

附 則

この申合せは、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この申合せは、平成22年3月5日から適用する。

附 則

この申合せは、平成22年7月14日から適用する。

附 則

1. この申合せは、平成25年6月12日から適用する。
2. 改定後の申合せの別表は、平成25年6月12日以降に学位授与の申請を行う場合に適用する。

ただし、適用日前に論文を投稿しており、かつ平成26年3月31日までに学位授与の申請を行う場合に限り、従前の例によることができる。

附 則

1. この申合せは、平成26年4月1日から適用する。
2. 改定後の申合せの別表は、平成26年4月1日以降に学位授与の申請を行う場合に適用する。

ただし、適用日前に論文を投稿しており、かつ平成27年3月31日までに学位授与の申請を行う場合に限り、従前の例によることができる。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この申合せは、平成29年8月16日から適用する。

附 則

この申合せは、令和2年3月17日から適用する。

大学院修了の時期に係る申合せ

(平成22年3月 5日 医学研究科教授会制定)

医科学専攻における課程博士の学位授与に関し、次のとおり申し合わせる。

1. 在学中に博士論文を提出し退学（単位修得退学）した者の取扱い
 - (1) 在学中に博士論文を提出し、その審査及び最終試験が終了する前に退学（単位修得退学）した者が、その審査及び最終試験に合格したときは、課程修了による学位を授与することができるものとする。
 - (2) 博士論文の審査は、それを受理した日から1年以内に終了するものとする。
2. 学位授与日
上記1. による学位授与日は、3月期修了者にあつては3月25日とし、9月期修了者にあつては9月25日とする。

附 則

1. この申合せは、平成22年 3月 5日から施行する。
2. 「課程博士の取扱いに関する申合せについて」（昭和58年10月20日大学院委員会決定）及び「大学院修了の時期に係る申合せ」（昭和58年 研究科委員会制定）は廃止する。

単位修得退学者に係る医科学専攻への再入学についての申し合わせ

(昭和61年 7月 9日 研究科委員会制定)

改正 平成11年 3月 3日 研究科委員会

平成13年 3月21日 博士課程委員会

平成21年 9月 8日 医学研究科教授会

平成22年 3月 5日 医学研究科教授会

1. 本研究科医科学専攻において所定の期間在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な博士論文の作成等に対する指導を受けて退学した者の再入学は、退学後3年以内の期間に博士論文の審査を受けるために願い出た場合においてのみ認めるものとする。
2. 再入学の時期は、学期の初めとする。
3. 再入学した者の修了の時期は、原則として再入学した学期の終わりまでとし、学位授与日は、3月期修了者にあつては3月25日とし、9月期修了者にあつては9月25日とする。

附 則

この申し合わせは、昭和61年 7月 9日から施行し、この申し合わせ施行の際現に在学する者から適用する。

附 則

この申し合わせは、平成11年 4月 1日から適用する。

附 則

- 1 この申し合わせは、平成13年 4月 1日から適用する。
- 2 平成13年 4月 1日の改組前の医学系研究科博士課程を単位修得退学した者については、改組後の医科学専攻を単位修得退学した者とみなしてこの申し合わせを適用する。

附 則

- 1 この申し合わせは、平成20年 4月 1日から適用する。
- 2 平成20年 4月 1日の改組前の医学系研究科博士課程を単位修得退学した者については、改組後の医科学専攻を単位修得退学した者とみなしてこの申し合わせを適用する。

附 則

この申し合わせは、平成22年 3月 5日から施行する。